

## 令和6年度 我が校の学ぶ力向上策

## 【市町 目標】

○新しい価値と可能性を追求する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる。

## 【学校 目標】

○よく学び、心豊かにたくましく活動する子ども

## 【現状と課題】

○視点1 昨年度の校内研究のふりかえりや日頃の学習の様子から、本校児童は「読解力」と「表現力」にやや課題が見られる。また、学習中に児童同士の対話のつながりが少なく、個々の児童の思考が深まるまで至っていない。  
○視点2 与えられた課題に積極的に取り組むが、自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断し、他者と協働的に問題を解決していく力はやや弱い。  
○視点3 学級担任8名のうち6名が経験年数7年未満のため、同僚性を高めることで更なる指導力の向上を図る必要

## 取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】  
※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①校内研究テーマを「つながり学び合う国語科授業の追求～聴き合い、思考を深める児童の育成を目指して～」とし、「協働的な学び」の学習形態の定着に取り組む。 ○児童の読解力・表現力向上のために、日常的に新聞記事の要約や読解問題、短作文づくりに取り組む。	①「学びの基礎チャレンジ」の国語科「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3項目全てで、県内平均を上回る。	-	B
	児童アンケート「学習中に友だちと考えを聴き合う活動を通して、考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対する肯定的な回答の割合が90%以上	B	A
	児童アンケート「文章を読んで、中心となる大切な言葉や文を見つけたり、短い文にまとめたりすることができていますか」に対する肯定的な回答の割合が90%以上	B	A
【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○校内研究テーマを「つながり学び合う国語科授業の追求～聴き合い、思考を深める児童の育成を目指して～」とし、「協働的な学び」の学習形態の定着に取り組む。	・児童アンケート「自分が考えたことや感じたことを、積極的に周りの人に伝えていきますか。」に対する肯定的な回答の割合が90%以上	A	A
	・児童アンケート「学習中に友だちと考えを聴き合う活動を通して、考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対する肯定的な回答の割合が90%以上	B	A
	・児童アンケート「わからないことや疑問に思うことは、そのままにしないで訊いて(たずねて)いますか。」に対する肯定的な回答の割合が90%以上	B	A
【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○授業力向上のため、研究授業にかかわる教材の研究会を年4回行う。 ○教員同士で教え合う校内ミニ研修会を行う。(月1回)	・教職員アンケート「教材研究会は、あなたの授業力向上に役立っていると思いますか」に対する肯定的な回答の割合が90%以上	B	B
	・教職員アンケート「校内ミニ研修会は、あなたの授業力向上に役立っていると思いますか」に対する肯定的な回答の割合が90%以上	B	B

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・4月の校内研究全体会で、校内研究主任が研究テーマ「つながり学び合う国語科授業の追求～聴き合い、思考を深める児童の育成を目指して～」について具体的な取組内容を説明し、教職員全体で共通理解を図る。
- ・6月中旬より全学年による研究授業(授業公開および研究協議会)をスタートさせる。研究協議会では、公開した授業について、協働的な学びが行われていたか、教師の手立ては適切であったか等を検証するとともに、改善点について話し合う。
- ・各学年の授業公開および研究協議会に先進校の研究実践牽引者を3回招いて、指導・助言を受ける。

## 今年度の取組の成果と課題

## 【学びを実感できる授業づくり】

・「協働的な学び」の学習形態を柱とした校内研究では、研究授業と夏季研修に有識者を招聘して指導助言いただいたため教師の指導力は向上し、その結果児童も本学習形態による思考の深まりを実感することができた。一方で、「協働的な学び」の学習スタイルへの教職員の理解は進んだが、活動内容やタイミング等には改善の余地がある。

## 【学ぶを支え合う集団づくり】

・来年度はそれらに加えて、朝のスピーチを強化することで、自己有用感の高まりや相互理解の深まりを図り、より良い学級集団・学習集団づくりにつなげたい。

## 【子どものために一丸となって取り組む学校づくり】

・放課後の職員間およびOJTでの「校内ミニ研修会」に十分な機会が取れなかったため、若手教職員を中心にテーマを決めるなど、充実を図っていく。